

第4回 K I A C 講演会・キラリと光る技術のプレゼン大会  
「オープンファクトリーがもたらす企業変革」

2024年10月11日

近畿経済産業局 地域連携推進課 黒木 啓良

# オープンファクトリーとは・・・



つくり手が活動し、  
モノをつくりだしていく現場を公開し、  
来場者に体験してもらう取組

# オープンファクトリー

Open Factory

見せる側  
Sender

オープンファクトリーとは、Open（＝開く）とFactory（＝工場）の造語であり、一般的にイメージしやすいのは「工場見学」という言葉。

## 「付加価値を創り出す現場」

令和2年度調査※により、「工場見学」は見る側を主語とした言葉であり、「オープンファクトリー」は見せる側を主語とした言葉として整理。

※令和2年度 関西におけるオープンイノベーションを創出する地域一体型オープンファクトリーの発展可能性事例調査

見る側  
Viewer

工場見学

Factory-Tour

## 地域一体型オープンファクトリーとは…



ものづくりに関わる中小企業や工芸品産地など、一定の産業集積がみられる地域を中心に、企業単独ではなく、地域内の企業等が面として集まり、生産現場を外部に公開したり、来場者にもものづくりを体験してもらう取組

引用:KANSAI OPEN FACTORY REPORT rec.2021

大正・港オープンファクトリー  
大阪市大正区・港区

てぬぐいフェス  
堺市

RENEW

鯖江市・越前市・越前町

千年未来工芸祭  
越前市

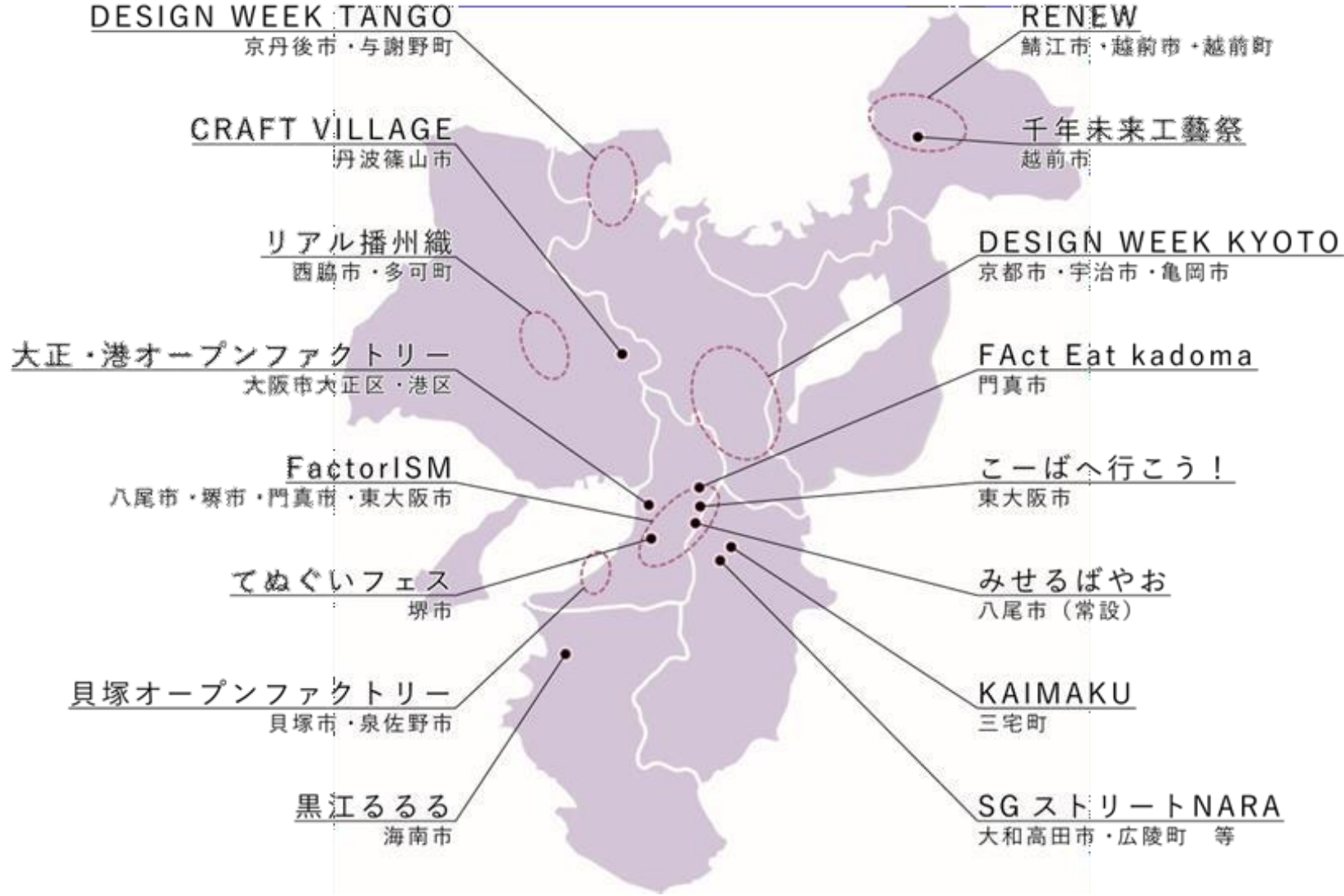
DESIGN WEEK KYOTO

京都市・宇治市・亀岡市

こーばへ行こう！  
東大阪市

みせるばやお  
八尾市（常設）

2018



**2021**

# 関西の2023年秋のオープンファクトリー開催状況について

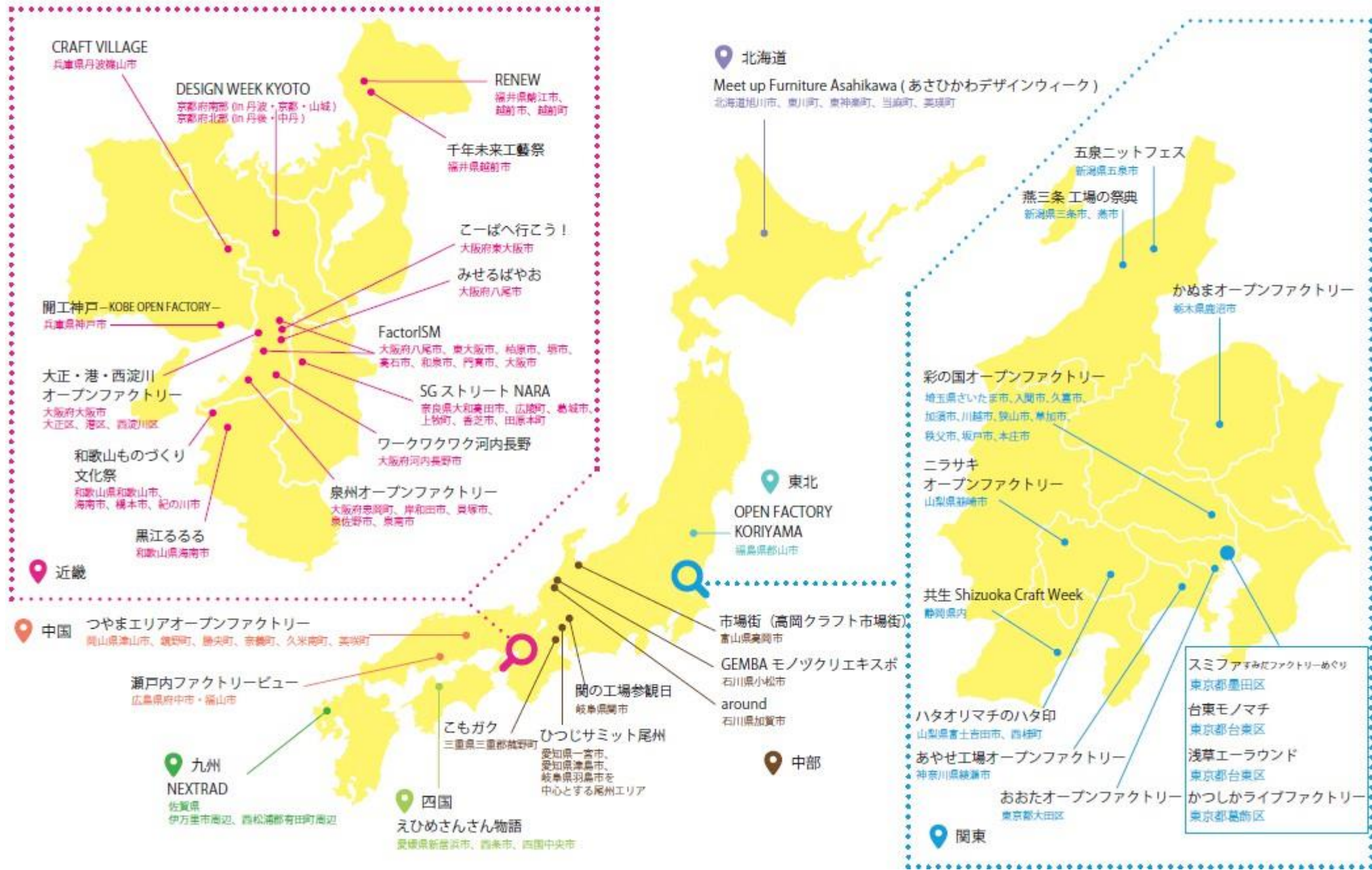
関西におけるオープンファクトリー予定について (10~12月) ※10/20以降 ※赤字は今年度初開催

10月26日~29日	FactorISM①	(八尾市・東大阪市・柏原市・名張市・門真市・大東市・四條畷市・大阪市都島区)
11月 2日~ 4日	FactorISM②	(堺市・高石市・和泉市)
11月 3日	CONTACT	(大東市)
11月 4日~ 5日	不器用ファクトリー	(枚方市)※くずはモールでのポップアップ型
11月 4日~ 5日	オーラウンド(靴と皮革の祭典)	(大阪市浪速区・西成区)
11月 5日	黒江るるる	(海南市)
11月10日~11日	こーばへ行こう!①	(東大阪市)
11月10日~11日	大正・港・西淀川オープンファクトリー	(大阪市大正区・港区・西淀川区)
11月11日~12日	丹波篠山CRAFT VILLAGE	(丹波篠山市)
11月16日~19日	泉州オープンファクトリー	(忠岡町・岸和田市・貝塚市・熊取町・泉佐野市・田尻町・泉南市・阪南市)
11月17日~18日	こーばへ行こう!②	(東大阪市)
11月18日	いばらきオープンファクトリー	(茨木市)
11月18日	とよなかオープンファクトリー	(豊中市)
11月22日~24日	ワークワクワク河内長野	(河内長野市)
12月2日~3日	和歌山ものづくり文化祭	(和歌山市)※和歌山城ホールでのポップアップ型
12月8日~9日	あまがさきエリアモノづくりパビリオン	(尼崎市)
12月22日~23日	まいづるグッドカンパニー	(舞鶴市)

※OPENFACTORY

REPORT1.0に掲載されている事例を中心に、近畿経済産業局が12月7日時点で把握している事例を掲載。

# MAP - 全国の地域一体型オープンファクトリー MAP-





# オープンファクトリーで期待できること

## 【企業のメリット】

- ・ 企業を魅せることでモノづくりや地域の魅力を伝えることができる。
- ・ 上手く見せる・伝えることで、社員の教育・採用につながる。

## 【来場者のメリット】

- ・ モノづくりについて理解を深めることができる。

## 【地域のメリット】

- ・ 地域の結びつきを強める。
- ・ 地域に関心を持つファンを増やし、地域のPRにつながる

# イノベーション創出の観点からのオープンファクトリー

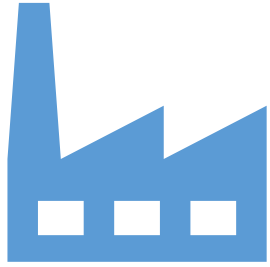
- 企業が社員一丸となって「みせる」ことに取り組むことから、社内人材同士での「越境」が生まれ、訪れる方々との交流により商流を越えた「越境」が生まれる。
- 『地域一帯型』で取り組むことで、業種・地域の「越境」が生まれ、企業、そして地域としてのイノベーションを創発する「手法」として注目されている。

社内での  
横断・越境

サプライ  
チェーン上の  
横断・越境

同一産地  
企業間での  
横断・越境

# オープンファクトリーコンテンツ



## 仕事現場の公開

モノづくりの魅力やプロセス  
を伝える  
企業や地域のファンを増やす



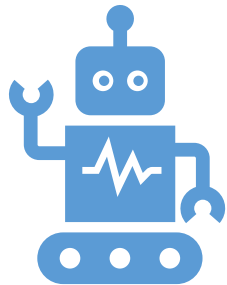
## ツアー

あらかじめ組んでおいた  
コースに沿って複数の見学  
先を訪問



## ワークショップ・製作体験

来場者自らモノづくりを体験し学び  
を得るワークショップを実施



## 商品展示・販売

商品や技術をアピールし、ビジ  
ネスマッチングの効果を生む



## セミナー・トークセッション

オープンファクトリー取り組み効果に  
ついて共有



## 交流

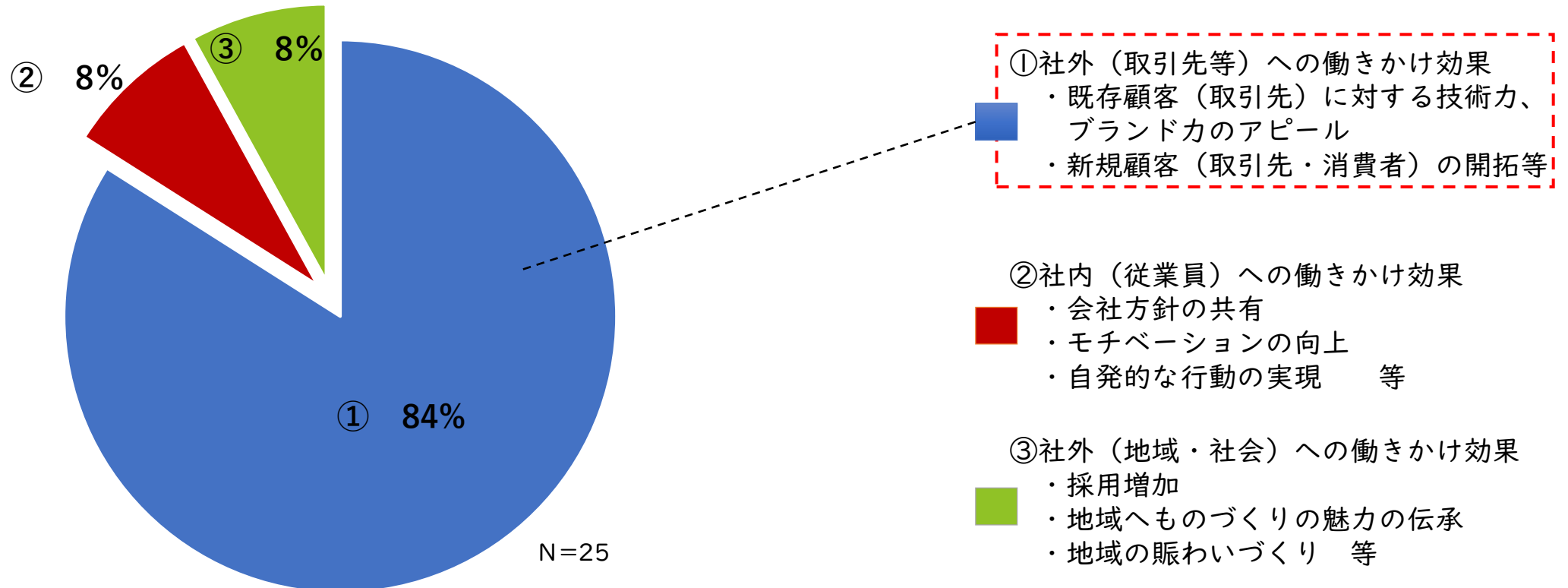
来場者、参加企業、地域  
の方々との結束を強める

# 取り組みの目的（動機） ～before～

【オープンファクトリーの最大の目的（動機）は社外（取引先・消費者等）へのアピール】

オープンファクトリーに取り組んだ目的（動機）についてヒアリングしたところ、既存顧客（取引先）に対する技術力、ブランドカのアピールや新規顧客（取引先・消費者）の開拓など、オープンファクトリーを**社外（取引先等）への働きかけ**の一つの手段として取り組んでいるケースが多く見受けられる。

【取り組みを始めた目的】

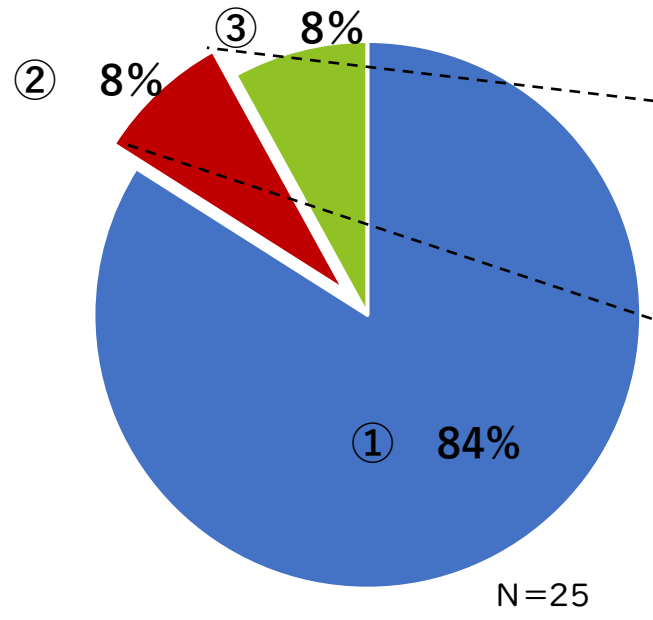


# 取り組みの効果（意義） ～after～

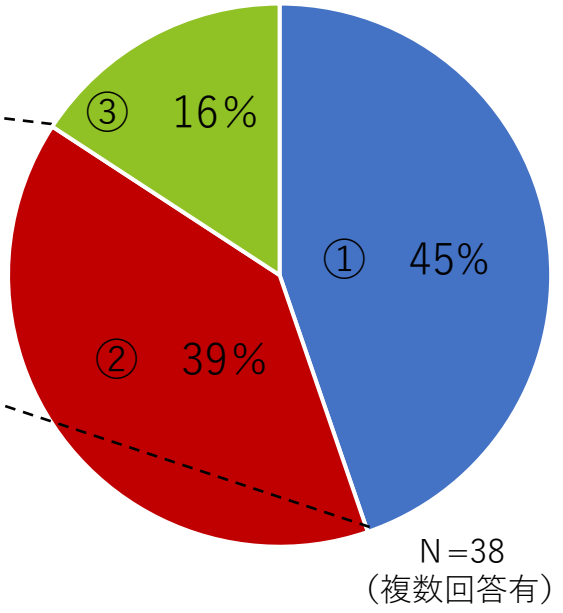
オープンファクトリーに取り組んだ効果（意義）についてヒアリングしたところ、取り組みの目的と比較し、**社内への働きかけ効果**のポイントが大きく伸びている（8%から39%）ことが明らかとなりました。

これは、取引先や消費者等の社外への働きかけを目的に取り組みを始めたものの、オープンファクトリーの取り組みを通じて、**社内の従業員に対する人材育成の効果**が当初の想定以上にあったことを表しています。

【取り組みを始めた目的】



【取り組み後の効果】



① 社外（取引先等）への働きかけ効果

- ・既存顧客（取引先）に対する技術力、ブランド力のアピール
- ・新規顧客（取引先・消費者）の開拓等

② 社内（従業員）への働きかけ効果

- ・会社方針の共有
- ・モチベーションの向上
- ・自発的な行動の実現 等

③ 社外（地域・社会）への働きかけ効果

- ・採用増加
- ・地域へものづくりの魅力の伝承
- ・地域の賑わいづくり 等

# オープンファクトリー

Open Factory

見せる側  
Sender

オープンファクトリーとは、Open (=開く)とFactory (=工場)の造語であり、一般的にイメージしやすいのは「工場見学」という言葉。

## 「付加価値を創り出す現場」

昨年度調査※により、「工場見学」は見る側を主語とした言葉であり、「オープンファクトリー」は見せる側を主語とした言葉として整理。

※令和2年度 関西におけるオープンイノベーションを創出する地域一体型オープンファクトリーの発展可能性調査

見る側  
Viewer

## 工場見学

Factory-Tour

・企業が社員一丸となって「見せる」ことに取り組むことから、社内人材同士での「越境」が生まれ、訪れる方々との交流により商流を越えた「越境」が生まれる。

・『地域一体型』で取り組むことで、業種・地域の「越境」が生まれ、企業、そして地域としてのイノベーションを創発する「手法」として注目されている。

## 経済産業局が行っている3つのアクション

### 要素化

・レポート・報告書・冊子



### 可視化

・冊子・MAP



### 活性化

・フォーラム・研究会



各地のキーパーソン、大企業、クリエイティブパーソンが交わる場を創出することで、ナレッジシェアによる「触発」を生み出し、様々な観点で活性化を実現。(フォーラム・ビジットツアーなど)

※下線はLocal Xと併催のもの

## 【フォーラム】

### 関西オープンファクトリーフォーラム

1. **2019年8月** (オカムラ)大阪市
2. 2020年2月 (ワコール)京都市
3. 2020年12月 (行政)八尾市
4. 2021年3月 (オカムラ)大阪市
5. 2021年9月 (南海電鉄)大阪市
6. 2021年10月 (行政)西脇市
7. 2021年10月 (行政)八尾市
8. 2022年1月 (行政)大阪市大正区
9. 2022年2月 (KRP)京都市
10. 2022年9月 (行政)丹波篠山市
11. 2022年10月 (行政)八尾市
12. 2022年11月 (行政)和歌山市
13. 2023年2月 (KC)大阪市
14. 2023年3月 (NTT)大阪市
15. 2023年7月 (池泉)大阪市
16. 2023年8月 (行政)越前市
17. 2023年10月 (行政)八尾市
18. 2023年12月 (りそな)大阪市
19. 2023年12月 (KC)大阪市

### Local X Forum

1. 2023年8月 (行政)越前市
2. 2023年10月 (行政)八尾市
3. 2023年11月 (行政)東かがわ市
4. 2023年12月 (会議所)桐生市
5. 2023年12月 (行政)遠野市
6. 2023年12月 (KC)大阪市
7. 2023年12月 (行政)東京都渋谷区
8. **2024年1月** (行政)新庄市

### 東北オープンファクトリーフォーラム

1. 2023年1月 (行政)二戸市
2. 2023年2月 (行政)郡山市
3. 2023年12月 (行政)遠野市
4. 2024年1月 (行政)新庄市

### 四国イノベーションフォーラム

1. 2023年1月 (行政)高松市
2. 2023年11月 (行政)東かがわ市

### ヒューマン・ビジット

1. 2021年11月 京都・亀岡・宇治市
2. 2023年12月 貝塚・泉佐野市
3. 2024年1月 堺市
4. 2023年3月 八尾市

※大企業人材等を20名程度連れて各地を訪問



## メディア事例： 当局絡みまたは関西の動きとして紹介されたもののみ抜粋

### 2019年度 (5)

0628\_日刊自動車新聞  
0808\_日刊工業新聞  
0108\_かながた新聞  
0222\_ALCO  
0223\_京都新聞

### 2020年度 (4)

0616\_観光経済新聞  
0708\_日刊工業新聞  
0310\_日刊工業新聞  
0326\_観光経済新聞

### 2021年度 (15)

1006\_日本経済新聞  
1019\_産経新聞  
1019\_日刊工業新聞  
1108\_日本経済新聞  
1108\_NHK(ほっと関西)  
1109\_NHK(やさしいN)  
1111\_中部経済新聞  
1125\_読売TV(4TV)  
1205\_京都新聞  
1210\_繊維ニュース

1227\_繊維ニュース

0119\_日刊工業新聞  
0207\_NHK(全国)  
0303\_日本経済新聞  
0325\_産経新聞

### 2022年度 (21)

0408\_日刊工業新聞  
0414\_日刊工業新聞  
0422\_日本経済新聞  
0426\_日刊工業新聞  
0508\_日経MJ

0721\_毎日新聞  
0921\_日本経済新聞  
0928\_電波新聞  
1018\_日本経済新聞  
1019\_日刊工業新聞  
1028\_産経新聞  
1108\_NHK(やさしいN)  
1118\_電波新聞  
1125\_産経新聞

0217\_大阪日日新聞  
0303\_日刊工業新聞  
0314\_日刊工業新聞  
0316\_アスキー  
0323\_観光経済新聞

### 2023年度(24)

0404\_トラベルニュース  
0426\_日本経済新聞  
0501\_日刊工業新聞  
0524\_産経新聞  
0707\_NHK(ネット記事)

0710\_日本経済新聞  
0731\_読売新聞  
0815\_日刊工業新聞  
0824\_日本経済新聞  
0828\_日刊工業新聞  
1023\_日本経済新聞  
1031\_日本経済新聞  
1101\_読売新聞  
1101\_日本経済新聞  
1108\_ものづくり新聞  
1110\_日刊自動車新聞

1205\_上毛新聞  
1213\_桐生タイムス  
1214\_遠野テレビ  
1225\_織研新聞  
1225\_日本経済新聞

0105\_日本経済新聞  
0124\_日本経済新聞  
0301\_月刊コロンブス

### 2024年度

0413\_日本経済新聞  
0514\_日本経済新聞



# 参加企業同士のコラボレーションの誕生や、人材採用など



DESIGN WEEK KYOTO HPより引用



こーばへ行こう！  
HPより引用



RENEW  
HPより引用



株式会社友安製作所  
HPより引用

# 様々な外部企業等との連携が 次々と誕生している



近畿日本鉄道株式会社 株式会社みせるばやお アットプレスより引用  
<https://www.atpress.ne.jp/news/353181>



株式会社盛光SCM HPより引用



株式会社アーバンリサーチ PRTIMESより引用  
<https://prt看imes.jp/main/html/rd/p/000000836.000003710.html>

# 先進事例①

2015年～

福井県鯖江市、越前市、越前町

## RENEW



### CORE VALUE

**来たれ若人、ものづくりのまちへ。**

### EVENT DATA

開始年 : 2015年  
開催回数 : 9回  
開催期間 : 例年10月頃 / 3日間程度  
参加企業 : 94社  
来訪者数 : 延べ3万1千人 (2023年度)  
主催 : 一般社団法人 SOE

# RENEW

かつては「ものづくりの音」があふれ、地域と共存していた「工場」も、公害防止の観点から、環境改善が進むと同時に外部から見えなくなったことで、「地域との繋がり」が薄れてきた。今後関西においても、再び地域との繋がりを生むツールとして、オープンファクトリーが期待されている。

## ◎コンセプト

持続可能な産地づくりを目指して2015年に福井県鯖江市河田区でスタートした産業観光イベント。

会期中には普段出入りできないものづくり工房の見学を通じて、作り手の想いや背景を知り、体験しながら商品の購入を楽しむことができる

## ◎イノベーション

開催をきっかけに越前鯖江エリアには35社の新規店舗がオープンし、日本一のファクトリーショップ集積地となっている。

産業企業の機運が醸成されるとともに地元愛も高まり、産地での意識に変化が生まれ、50名もの雇用の成果をあげた。



【RENEW HP より引用】

開始年 : 2015年  
参加企業 : 94社  
来訪者数 : 延べ3万1千人 (2023年度)

# 先進事例②

2020年～

大阪府八尾市、東大阪市、柏原市、堺市、高石市、和泉市、門真市、大阪市、大東市、四條畷市、三重県名張市

## FactorISM



### CORE VALUE

**こうばはまちの  
エンターテインメント**

### EVENT DATA

開始年 : 2020年  
開催回数 : 4回  
開催期間 : 例年10月頃 / 4日間程度  
参加企業 : 83社  
来訪者数 : 2万人以上 (リアル参加者)  
主催 : まちのこうほうふ  
(FactorISM 実行委員会)

# 郷田商店 (FactorISM)



# 小泉製作所 (FactorISM)



様々な外部企業等との連携が次々と誕生している



Knowledge Capital オープンファクトリーで全国から10団体が参集

## KNOWLEDGE CAPITAL OPEN FACTORY

ナレッジキャピタルと近畿経済産業局による「新しいモノづくり」を応援するイベントです。  
全国各地で盛り上がりを見せる「地域一体型オープンファクトリー」。今注目のオープンファクトリー10団体から42社、  
新たな視点でモノづくりに挑む7つのクリエイティブユニット、技術と感性を掛け合わせモノづくりを实践する  
ナレッジキャピタル参画者から11者、全60団体が出展し、こだわりの「モノ」の展示販売、ワークショップを実施します。

※オープンファクトリーとは？  
モノづくり企業が地域の魅力を最大限に活用し、商品を生産・流通し、消費者にモノづくりを体験してもらう取り組みです。

<p><b>1</b> 新潟県</p> <p><b>KOUBA</b></p> <p>KOUBAは、「東三条市、工場(KOUBA)の魅力を」をビジョンに活動する団体です。「まなぶ・つくる」から「楽しむ」まで幅広い取り組みを中心に、市民を通じて東三条のモノづくりを支援します。互いの違いを認め、2023年11月26日(水)～29日(土)の4日間、KOUBAを開催します。</p>	<p><b>2</b> 富山県</p> <p><b>赤坂街</b></p> <p>2023年9月26日(土)～1日(祝)期間のうちに、テラフットやアートに出会って、触れて、体験できる3日間。「職人の技」「まもの人文化」「地元の特産品」に触れることができるコンテンツをたっぷりご用意しています！貴団の職人や職人との交流をお楽しみください。</p>	<p><b>3</b> 福井県</p> <p><b>RENEW</b></p> <p>「東九の職人、ものづくりのまちへ」福井県越前市・越前町で開発される持続可能な地域づくりを推進したイベント。</p>
<p><b>4</b> 愛知県・岐阜県</p> <p><b>ひつじサミット尾州</b></p> <p>ウール生産の産地「尾州(びしゅう)」で、工場見学やワークショップ、ショップなどを通して、職人・クリエイター・学生など多様なプレイヤーが繋がり立ち上がり活躍するコミュニティです。</p>	<p><b>5</b> 三重県</p> <p><b>ひつじサミット</b></p> <p>「季節のこもろ」を知り、内装に広げていくことで主体的に行動する人も、もっとものに寄り添うようにする人も増やすこと。それがこもろです。2023年10月28日(土)～29日(日)滋賀県津市センターで開催!</p>	<p><b>6</b> 大阪府</p> <p><b>FactoriSM</b></p> <p>「こぼれまののエンターテインメント」株式会社。人々の生活を支え、世界を創るモノづくりを体験できる八尾市、堺市、門真市などで開催されるイベント。今年も3社が参画。2023年10月28日(土)～29日(日)、11月2日(水)～4日(土)(聖エリアのみ)で開催!</p>
<p><b>7</b> 兵庫県</p> <p><b>關工神戸</b></p> <p>多様な文化や産業を積極的に取り入れてきた神戸神戸ならではのオープンファクトリーを目指し、企業・クリエイター・学生など多様なプレイヤーが繋がり立ち上がり活躍するコミュニティ。</p>	<p><b>8</b> 奈良県</p> <p><b>SG NARA</b></p> <p>29年以上人口減、高齢化率38%、名目GDPは47郡道府県で最下。歴史ある「奈良」の再興を目指す立場・世代の枠を取り払った公共施設プロジェクト。</p>	<p><b>9</b> 和歌山県</p> <p><b>和歌山ものづくり文化祭</b></p> <p>「ものづくりの未来を創る、体験と学び」和歌山県北部の製造業が一歩に踏み出す技術をもとに、産学連携による女子大生のアイデア製品など、ナレッジキャピタルで活動するモノづくり企業や大学が出展。</p>
<p><b>10</b> 佐賀県</p> <p><b>NEXTRAD</b></p> <p>伊万里・有田焼の多様な多様な文化の伝道活動していない製造業が得意なファクトリーツアーと、有田焼の得意技術など職人のモノづくりを共有するイベントです。2023年11月17日(金)～18日(土)イベント開催予定!</p>	<p><b>11</b></p> <p><b>クリエイティブユニット</b></p> <p>地域のモノづくり企業とコラボレーションを行う「アーバンリサーチ JAPAN MADE PROJECT」やWebメディア「Begin NEWS」が手がけるネットブランド、今注目のめいどるネットプロジェクトなど、新たな視点でモノづくりに挑むクリエイティブユニットが出展。</p>	<p><b>12</b></p> <p><b>KNOWLEDGE CAPITAL ナレッジキャピタル</b></p> <p>ハイブリッド車や電気自動車などの先端技術を開発、産学連携による女子大生のアイデア製品など、ナレッジキャピタルで活動するモノづくり企業や大学が出展。</p>



# オープンファクトリー × 大阪・関西万博

## 「Co-Design Challenge 2024」のコンセプト

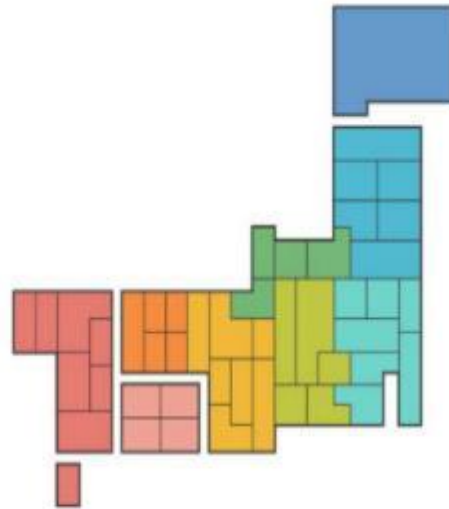


大阪・関西万博を契機に、日本全国それぞれの土地で  
これからの日本の暮らし（まち）をつくる

夢洲会場



全国のものづくり産地



相互誘客

## 【Co-Design Challenge】

大阪・関西万博を契機に、様々な「これからの日本の暮らし（まち）」を改めて考え、多彩なプレイヤーとの共創により新たなモノを万博で実現するプロジェクト



## 「Co-Design Challenge 2024」の提案条件 詳細についてはP.25を参照のこと



1. これから新たに“開発”を行う物品・サービスであること
2. 複数の企業・団体が協力して開発に取り組むことが望ましい（複数の企業・団体に応募することが望ましい。採択後に「TEAM EXPO 2025」プログラム（※1）への登録を必須とする）
3. デザイナー/クリエイターが参加すること
4. 応募者に中小企業（※2）が含まれること
5. 応募者は、作り手が工場や工房の製造現場を公開し、来場者にもものづくりを体感してもらう取組（オープンファクトリー）を行っている／行おうとしていること
6. 大阪・関西万博会期中に、製造現場の見学を含むものづくり体験企画（商品）による地域への誘客に取り組むこと（地域の関係者と連携した旅行商品とすることが望ましい）

※ 体験企画は、高付加価値な旅行商品を掲載する協会公式ポータルサイト「Expo 2025 Official Experiential Travel Guides（※3）」への登録を想定しています。（登録には別途申請し基準を満たす必要があります）

※ 製造現場の見学のみのもものづくり体験企画は対象外です。

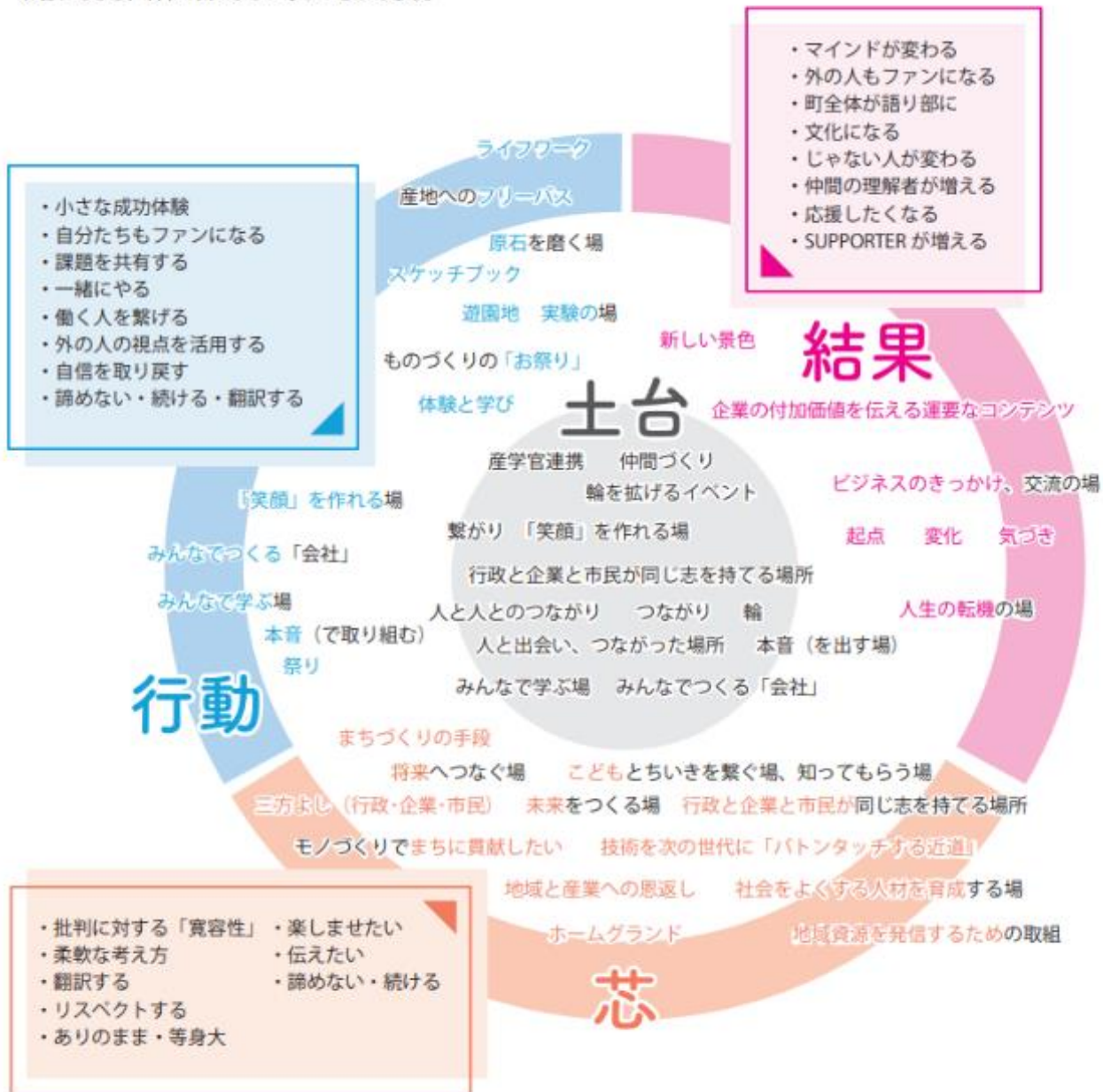
※1 「TEAM EXPO 2025」プログラムについては以下を参照のこと  
<https://team.expo2025.or.jp/>

※2 詳細はP.29を参照のこと

※3 詳細はP.30参照のこと

## 「オープンファクトリー」とは

全国の地域一体型オープンファクトリー事例調査の際に、キーパーソンにとっての「オープンファクトリーとは？」を一言で表現してもらった。その結果をまとめたところ、「芯」、「行動」、「結果」、「土台」の4つに分類することができた。そして、これらに知見融合会議（「IV.「知見融合会議」開催結果」参照）で抽出されたワード（俯瞰した立場から見た継続や活性化に資する要素）を重ね合わせると、以下の図のように示すことができる。



「オープンファクトリー」  
「近畿経済局」で検索いただくと  
様々なレポートをご覧いただけます！